



岡山県合唱連盟機関紙

トウッティ 第76号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫

事務局：岡山市京山 2-3-9-601

TEL：070-5673-1524 FAX：03-6862-9869

電話受付は留守電対応となります。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

編集者：岡山県合唱連盟事務局次長 西山 隆幸

E-mail：NishiyamaChor@gmail.com

第62回全日本合唱コンクール 合唱団こぶ

★ 武藤 葉子

「全国大会に出場したい!!」これが合唱団こぶの夢であったように、「こぶ」で唄いたい!!これが私の長年の夢でした。ちょうど2年前我慢できなくなった私は、「こぶ」に押し掛け入団させてもらったのです。きっと、(なんで、こんなおばさんが入って来るん!?)と思った団員も…。そうっ!何を隠そう、私は最年長。他のメンバーとは親子程の年齢差。迷惑な話ですよ。でも、私は「こぶ」が大好きで、「こぶ」で唄えて幸せな日々。

あ〜、話がそれてますね。全国大会の話でした。全国出場が決まってからすぐ、岡山からの北海道便がなくなっちゃったり、宿や練習会場の手配やら、費用の工面やら、それはもう大変だったのですが、皆様のおかげで本当に貴重な体験ができました。全国の舞台に立てることに一人ひとりが誇りを持ち、「こぶ」らしく楽しんで唄えたと思っています。

こぶのみんな、本当にありがとう。そして、これからもヨロシク。

女は40歳から。人生が面白くなる!? 実感っ!! ねっ、大山先生!



第17回岡山県ヴォーカルサンプルコンテスト開催

部門	団体名	優秀賞	全国
重唱	POM ENSEMBLE	○	△
ジュニア	さやか	○	中学
高校	ユーマン谷のなかまたち	○	高校
女声	Coro Piacce	○	△
	La Voce 第二章	—	一般
男声	金曜の会	○	△
混声	お腹がパンクブー	◎	△

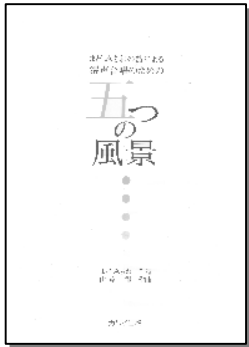
2月7日、総社市民会館で開催した“アンコン”に77団体がエントリーし、そのハーモニーを競いました。その中でも優秀賞を受賞した団体は左記の通り。グランプリは、「お腹がパンクブー」(所属団体はコール・ゆうぶんげん)が受賞しました。3月20~22日、福島市で開催される第3回声楽アンサンプルコンテスト全国大会には2団体が推薦されました。

他団と競い合うことは刺激的で充実感に溢れるものです。次回は倉敷市真備町の「マービーふれあいセンター」にて開催されます。どうぞ、歌いに、聴きに、ご参加ください。

秋季合唱講習会報告

研修部長 松下 泰久

11月15日(日)、就実高校の視聴覚教室にて、大阪在住の作曲家山岸徹先生をお招きして合唱講習会を行った。岡山県は折しもインフルエンザ警報発令中。無事当日を迎えることが出来たのには、上月理事長の開会の挨拶の中にもあったが、担当者としては胸をなで下ろすことだった。



まど・みちおの詩による
混声合唱のための
「五つの風景」
作詞：まど・みちお
作曲：山岸 徹
作曲家自身の手により
曲作りを行った。

今回の講習会はモデル合唱団がおらず、参加者自身が講習生であり、観客でもあったが、集まったメンバーはいくつもの団体からの「寄せ集め」が30人少々。結局日程的な都合で事前に一度もアンサンブルなしだったが、山岸先生の柔和なお人柄の表れたお話にあつという間に引き込まれ、「山岸ワールド」の講習会が始まった。

課題曲は、山岸先生の作品、まど・みちおの詩による混声合唱のための「五つの風景」より、1. 空 5. 雪がふる の2曲。まど・みちおさんの、温かでて深く人生を考えさせられる詩に、山岸先生の優しく、かつ情景が伝わるメロディーやハーモニーには、歌ううちに思わずうろっとしたり、声を詰まらせるメンバーもあったようである。(実は担当者もその一人なのですが…)。演奏自体は事前のアンサンブルの不足のため少々自信なげな声であったが、山岸先生に励まされ、また矢内副理事長の背後からの「援助」もあり、次第に本領発揮、さらに事前練習に1ヶ月以上を費やして参加したメンバーの美声に全体がたつられてエンジンがかかってきたところで昼休憩。あつという間に午前中が過ぎた。

昼食後、女声メンバーがまだ揃わない間に、先生の作品男声版「アヴェ・マリア」(未出版)を急遽ご指導いただいた。スタンドグラスの色が床に映える様子を模した部分など曲の音に込められた意味合いなど説明いただきながら、インスタントながら男声合唱曲ができあがったが、本当に美しい曲で、出版される日が待ち遠しい。

午後の部は、丹波篠山の桜の風景や、音のない白銀の世界、また視界を遮る吹雪の様子など、それぞれの音の意味、特に和音に込められたニュアンスの説明もあり、メンバーも「なるほど」と頷きながら、次第に2曲とも仕上がってきたところで、残念ながら時間切れ。本当に1日が短く感じられた。参加者の何人も、作曲家の生の「声」が聞け、作品の理解が深まったなど、やはり参加できたことへの喜びを耳に出来たことは成果である。

来年は、県北で講習会の予定。さらなる参加者の喜びを聞きたい思いがする。



今年の合唱フェスティバルは…。

事務局 菅尾多美

昨年の合唱フェスティバルの打ち上げで近藤先生より敢えて、苦言がありました。「打ち上げの参加者少なくなっていくのがとても寂しい。学生がたくさん参加してくれるのは、とてもうれしくありがたいけれど、一般の団体は出席していない団体がとても多い。他県では、このようなパーティでは指揮者や指導者が多数参加して情報を交換し合ったり、演奏の感想を言い合ったりしている。岡山の土地柄なのか、自分の道を行くというのもいいが、みんなであうまくなっていこうとするなら、切磋琢磨する場があったほうがいい。講師者はほっておけばいいから、パーティには大勢参加して、どんどん交流してほしい。そうみんなに伝えてほしい。」合唱連盟を大切に思ってくくださるあたたかい気持が、参加者一同の心に響きました。

年々、打ち上げの参加者は減ってさびしくなってきました。事務局の工夫も足りなかったことは否めませんが、せつかく合唱連盟に参加しているのであれば、自分たちで歌うだけでなく、ほかの合唱団とも演奏を聴いたり、情報を交換したりして世界を広げていきましょう。きっと音楽にもよい影響があるでしょう。今年の合唱フェスティバルの打ち上げには、ぜひ多数でご参加ください。楽しい企画のアイデアがある方は、事務局までご連絡ください。みんな、岡山県合唱連盟を楽しく、よりよい合唱音楽を目指す団体にしていきましょう。

～ ひとりごと ～

岡山県合唱連盟副理事長 中村 芳弘

合唱にのめり込んだ理由は、「合唱には言葉があるから」と、合唱指揮者平松剛氏は口にした。氏は皆さんもご存知の通り、日本を代表する合唱指揮者である。東京芸大でクラリネットを学び、ソロの活動も続けている。氏のプロフィールを語ったら紙面がそれだけで埋まってしまうので、「平松剛一」あるいは「平松混声合唱団」で検索していただきたい。

平成22年2月11日島根県で行われた第21回松江プラバ室内合唱コンクールに、久しぶり審査の声がかかり、前日の夕食会で千葉の伊藤博氏と平松氏と合唱について語る時間が持つことができた。その時の話題について、つれづれに思い出して行こうと思う。少々マニアックな話になるがお付き合い願いたい。

最初は邦人の作曲家。今年岡山で開催される国民文化祭で委嘱している信長貴富がトップバッターとなった。いまや絶大な人気をほこる作曲家で、「作曲よりアレンジの方が彼には向いている」などの酷評もあったが、三人とも日本の合唱界を背負っていく作曲家と一押しであった。次に鈴木輝昭。特に中学・高校の全国大会金賞団体グループが選曲する難しい作品が多く、多少飽ききた感がある。(なかなか取り組むところまでいける団体はそうないのだが・・・)しかし最近では教会音楽を取り入れた作品を手がけ、目指す音楽の方向が皮剥けてきた、と伊藤氏。松下耕・木下牧子・高嶋みどり・新見徳英・尾形敏幸・大中恩・池辺晋一郎・三善晃・佐藤眞・高田三郎と、作品の魅力や作曲者に対する考えを言い合った。特に三善晃については奥が深く魅力があり、高田三郎の作品は合唱のバイブル!と共感した。邦人のつぎは、外国の作曲家と作品。現代作曲家、ロマン派のブラームス・シューベルト、モーツァルト、バッハ、グレゴリア聖歌まで……。初めて聞く作曲家も多々出てきて中村唖然。ついには、何で合唱をするのか?これからの合唱はどうなっていくべきか?人の声から生まれたハーモニーはどこに通じるのか?天上へ!神へ!・・・3人ともクリスチャンでもないのに、教会音楽について掘り下げていく。以下、とめどない話題の内容は、指導者指揮者のあり方・合唱団のあり方・アンサンブルコンテストの全国的な動向など、ワイングラスを傾けながら3時間あまり熱弁をふるった。最後に、「器楽、吹奏楽もいいが、言葉を表現することのできる合唱に出会い、これが指揮者としての自分の天職だと思っている」と平松氏は熱く語った。

いろいろなジャンルや音楽や発声などがある中、(人それぞれ趣味は勿論自由だが)求めるべき共通の合唱観を持つ両氏と、時間も忘れ語り合うことができたことは、大変有意義であった。

翌日、朝10時から17時まで約40団体の演奏を聴き、快い疲れと共に最終のやくも号に乗車した。



瀬戸内混声合唱団 「25周年記念演奏会を終えて」

内田 毅

木村 豊子

昨年末、私たち瀬戸内混声合唱団は「創立25周年記念演奏会」開催しました。

当日(20日)は大変に寒い一日でしたが、多くの方々にご来聴いただきましたこと、団員一同、心よりお礼を申し上げます。

また、瀬戸混の団員数を上回るほどの方々に、倉敷市内はもちろん、岡山市、福山市、遠くは海外ベトナムからと駆けつけていただき応援をいただきました。重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、この演奏会は瀬戸混が創立25周年を迎えるにあたり、何か大きな演奏会と企画されました。瀬戸混は15周年では指揮者に小泉ひろし氏を迎え、フォーレの「レクイエム」を、20周年では指揮者矢内淑子でモーツァルトの「戴冠式ミサ」を演奏しました。いずれの回も外部の方々にもお手伝いをいただき、盛大に開催されました。その流れを受けて今回は指揮者に樋本英一先生をお迎えし、曲は先生推薦のドヴォルザーク「ミサ曲二長調」となりました。

樋本先生は、現在東京でオペラ指揮を中心に活躍中ですが、合唱の指導も数多くこなされ、近年全日本合唱コンクールの審査員としてもたびたび登場されています。倉敷とのつながりでは2002年のカルミナ・ブラーナ演奏会(岩城弘之指揮)で合唱を指導され、熱心な指導に感銘を受けました。連盟でも岡山国体の練習に一度付き合ってくださいました。

瀬戸混には高嶺の花と思いつつも、行動力のある山本代表が相談したところ意外にも快諾をいただきました。しかし、先生も私どもの実力はご存じなかった様子で、初回の練習での戸惑い方は尋常ではなかったように感じました。それにもめげず、ラテン語の発音はもちろんのこと、歌詞の解釈、音の捉え方や音質を揃える事まで、私たちが普段の練習で当然心得ていなければならないことを根気良く熱心に丁寧に指導をいただきました。おかげ様で、本番では何とかミサ曲を歌うという心情になり、聴いてくださる方々の心にも多少訴えかけることが出来たのではないかとと思っています。

私たち瀬戸混にとっては大変に実り多い演奏会でありました。これを契機に更なる高みに向かって、和気あいあいと、しかし一歩ずつでも確実に進歩して行きたいと思えます。

“ドヴォルザークのミサ曲を歌いませんか”と皆様に呼びかけて始めた演奏会。指揮者に、東京から樋本英一先生をお迎えしての第三ステージのミサ曲は、「素晴らしかったよ」「圧巻だったね」「プロ並みだったよ」(?)と好評のうちに終了しました。当日までの練習(長時間経ったまま)の苦労は、吹っ飛ばしてしまい何とも言えない幸福感を味わったのは、私だけでしょうか。

樋本先生には、ミサ曲の言葉の一つ一つを丁寧に発音、アクセント、意味そして、その言葉の背景にある情景までもを詳しくご説明頂き、心をこめて歌うことが出来ました。何度も「しっかり指揮を見てください」と声が飛んで来ましたが、指揮を見て歌っているとまるで、樋本マジックにでもかかったかのように我ながら上手に歌えていると思うほどでした。

樋本先生の情熱あふれる指揮、矢内先生の根気強い発声指導、それに応えていつもより熱心に取り組んだ団員、ソリスト、ピアニスト、オルガニストみんなが舞台の上で一体となり、長いミサ曲を歌い上げることが出来たこと大変幸せです。

この貴重な合唱体験を今後を生かしていきたいとつくづく思います。余韻さめやらぬ私たちですが、その勢いで国民文化祭の合唱の祭典に団を挙げて参加することに決まりました。

創立25周年演奏会に遠方より合唱に参加し、また、寒い中ご来場くださった各合唱団の方々へ心より感謝を申し上げます。

最後になりましたが、2年前から企画し、準備をし、すべての細かいことに気を配り演奏会を成功に導いた山本代表の牽引力に感謝します。

ぴよぴよ ひよこ 通信



今後の行事予定をチェックしてください!

平成 22 年度予定行事

- H22. 4. 18 定例総会 (県立図書館多目的ホール)
- H22. 5. 22~23 岡山県春期合唱講習会 (22日:高梁市文化交流館/高梁市 23日:さん太ホール/岡山市)
- H22. 6. 6 第 63 回岡山県合唱フェスティバル (岡山シンフォニーホール)
- H22. 7. 4 第 33 回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)
- H22. 8. 8 第 63 回岡山県合唱コンクール (玉島文化センター)
- H22. 10. 17 岡山県秋期合唱講習会~小林秀雄先生と落葉松~ (久世エスパホール)
- H22. 10. 31 第 25 回国民文化祭~合唱の祭典~ (岡山シンフォニーホール)
- H23. 2. 6 第 18 回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト (マービーふれあいセンター)

平成 23 年度以降の予定行事

- H23. 9. 17~18 第 50 回中国合唱コンクール (岡山シンフォニーホール)

平成 20・21 年度理事は、2月7日に行われたアンコンを最後に任期満了となりました。様々なイベントの準備・運営に、多くの苦勞があったことでしょうか、同時に裏方でなければ知ることのできないこともあったのではないかと思います。お疲れ様でした。

新しく理事を務める方々もよろしくお願ひします。今までにないアイディア、あるいは思いつきでも次への一歩となります。是非意見を直接理事会でも、メールでもお寄せください。共に合唱活動を盛り上げてまいりましょう!

コンサートのごあんない …みんなできてね!

玉野市民女声合唱団 第 9 回定期演奏会

- とき 3月7日(日) 14:00開演
- ところ 玉野市立総合文化センター
- 曲目 月の角笛、花のかず、悲しみの枝に咲く夢、今日もひとつ、TOKYO 物語 ほか
- 入場料 無料
- 問い合わせ 0863-71-2695 (福田)

合唱団ごぶ 4th Concert

- とき 3月14日(日) 14:00開演
- ところ 総社市総合文化センター(総社市民会館)
- 曲目 信長貴富セレクション、ハナミズキ、全国大会報告演奏 ほか
- 入場料 500円
- 問い合わせ 0866-92-8371 (総社市勤労青少年ホーム)

岡山県立総社高等学校 第 12 回定期演奏会 (合唱部・箏曲部・吹奏楽部)

- とき 3月30日(火) 15:00開演
- ところ 総社市民会館
- 曲目 箏曲、合唱、吹奏によるステージ
- 入場料 100円

倉敷コールドクライネ 30周年 定期演奏会

- とき 5月9日(日) 14:00開演
- ところ 倉敷市市民会館
- 曲目 モーツアルト ミサ、思い出のステージ、お友達のステージ、日本の曲
- 入場料 1000円
- 問い合わせ 086-422-7604 (吉田)

Tutti の発行時期について☆☆☆☆☆

原稿の締め切りなど、ご協力くださるようお願いいたします。

- 4月 定例総会で配布
- 7月 おかあさんコーラス大会で配布
- 10月 理事会に合わせて発行・配布
- 1月 臨時総会に合わせて発行・配布

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

～ おしらせ ～

日時・場所がきまり次第、岡山県合唱連盟のホームページにアップしています。また Tutti (4面上部) に常時掲載しているので、ご活用ください。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

次号の発行：4月 ⇒ 原稿締め切りました。

1月発行予定が、遅くなってしまいました。申し訳ありません。編集も大変ですが、執筆者が一番大変です…。これからも多くの投稿をお待ちしています!

〒710-0251
 倉敷市玉島長尾16 fiore201号室 西山 隆幸
 E-mail: NishiyamaChor@gmail.com
 FAX: 086-522-0617